

## 2-2 東葉高速線の利用状況

### (1) 1日平均乗車人員の推移

1日平均乗車人員は、年々増加傾向にあり、平成19年度は78,974人/日となっている。乗車券種類は普通乗車券が28,644人/日、定期券が50,330人/日と定期券の方が多。

駅別では、各駅とも増加傾向にあり、特に八千代緑が丘駅、八千代中央駅、村上駅は平成8年からの増加率が大きい。

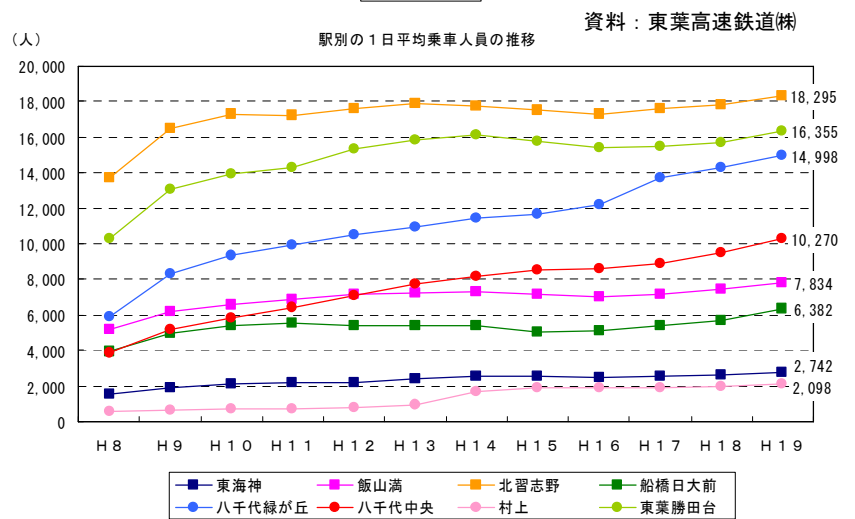
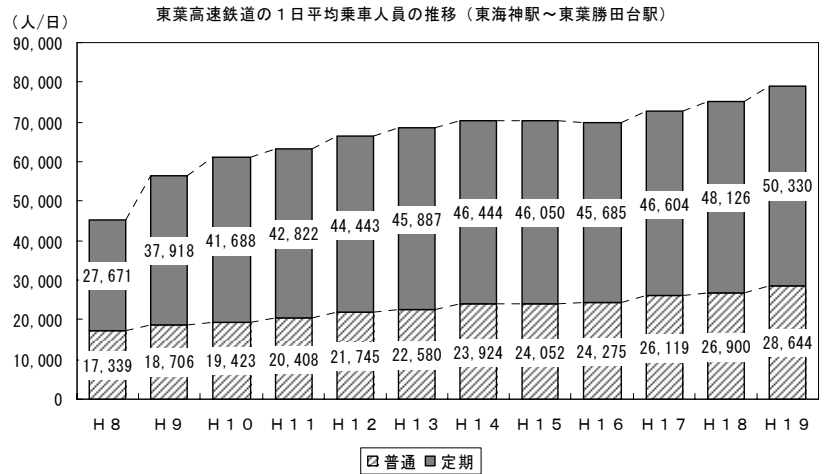


図2-1 1日平均乗車人員の推移

駅別の1日平均乗車人員は、北習志野駅が18,295人/日と最も多く、次いで東葉勝田台駅16,355人/日、八千代緑が丘駅の14,998人/日となっている。乗車券種類は、東海神駅、村上駅は普通券利用の方が多いが、他の駅は定期券利用が多くなっている。

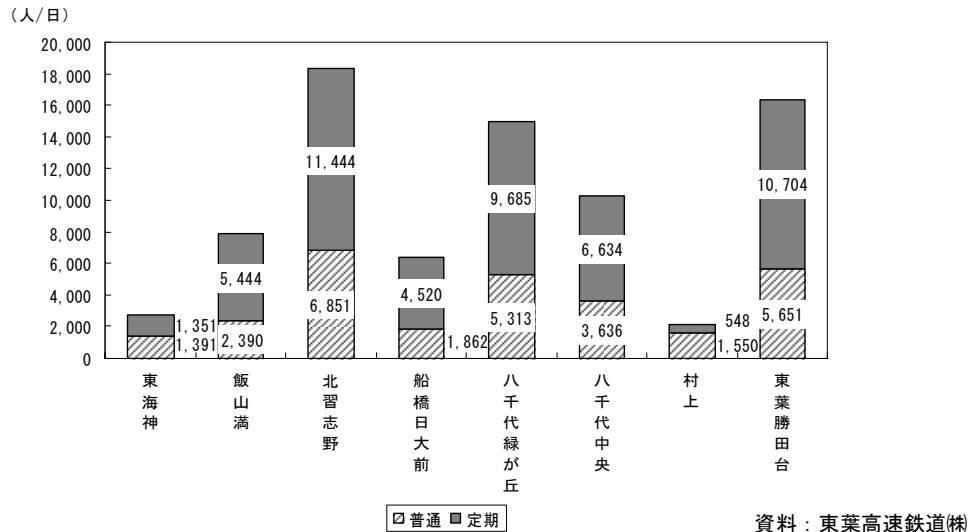
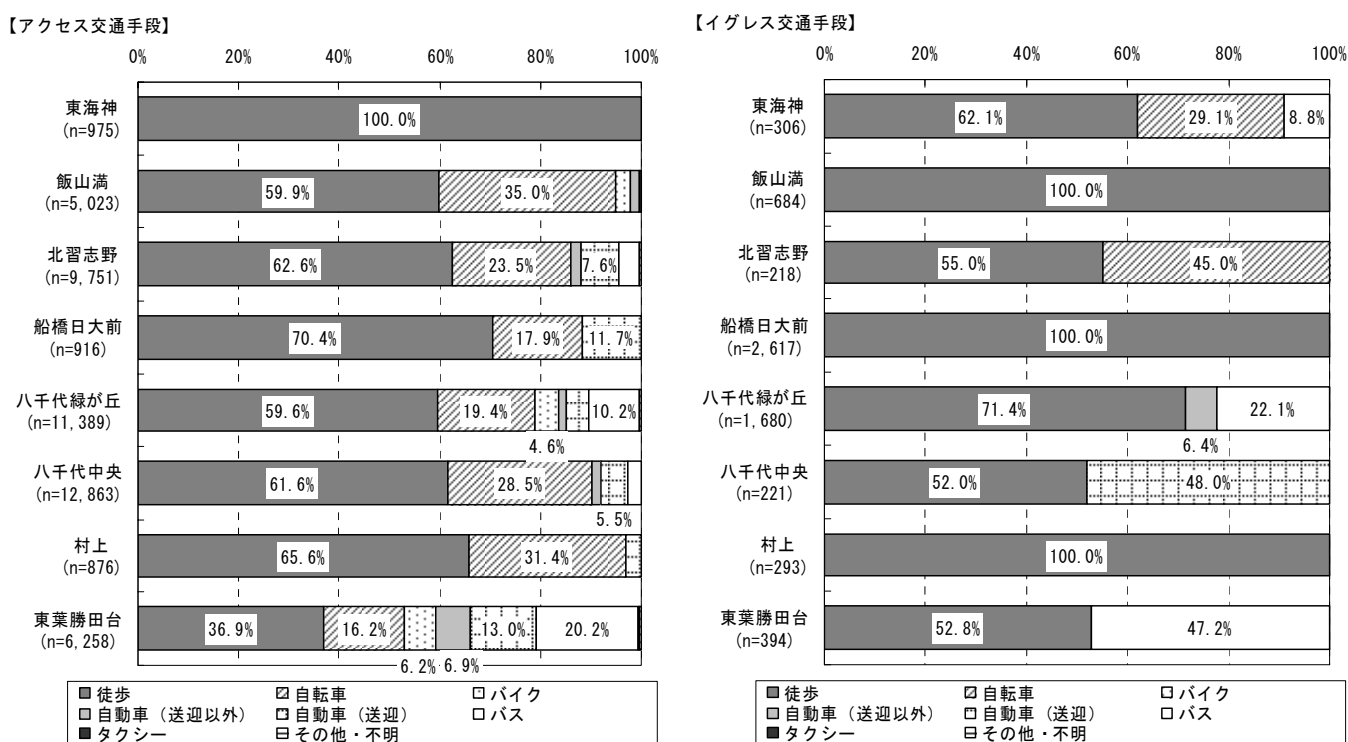


図2-2 駅別の1日平均乗車人員 (平成19年度)

## (2) 各駅端末交通手段

各駅のアクセス交通手段は、全駅ともに徒歩が最も多くなっており、次いで自転車となっている。ただし、東葉勝田台駅、八千代緑が丘駅は、バスも全体の10~20%と、他の駅より多くなっており、東葉勝田台駅、船橋日大前駅では、自動車の送迎も約10%を占めている。

各駅のイグレス交通手段（鉄道駅などの主要な交通手段利用後に、目的地に至るまでの交通）は、全駅ともに徒歩が最も多くなっており、飯山満駅、船橋日大前駅、村上駅は100%となっている。ただし、各駅で違いがみられ、東海神駅、北習志野駅は自転車が30~45%を占め、八千代緑が丘駅、東葉勝田台駅はバスが20~50%を占めている。また八千代中央駅では、自動車の送迎が48.0%と半数近くを占めている。



資料：平成17年大都市交通センサス

図2-3 駅別端末交通手段構成比

### (3) 沿線地域の利用路線割合

東葉高速線沿線地域の利用路線割合を以下に示す。

東葉高速線の北側は比較的用户が多く、駅勢圏も広がっている。一方、南側は京成本線、JR線等の影響により利用者が減っている。なかには、東葉高速線の駅の方が近いのに京成本線やJR線に利用者が流れている地域もみられる。(飯山満駅周辺地区、八千代緑が丘駅南側地区等。) この地域では、バス路線網が無かったり、京成本線の駅へ接続する路線数が多いなどの影響も考えられる。

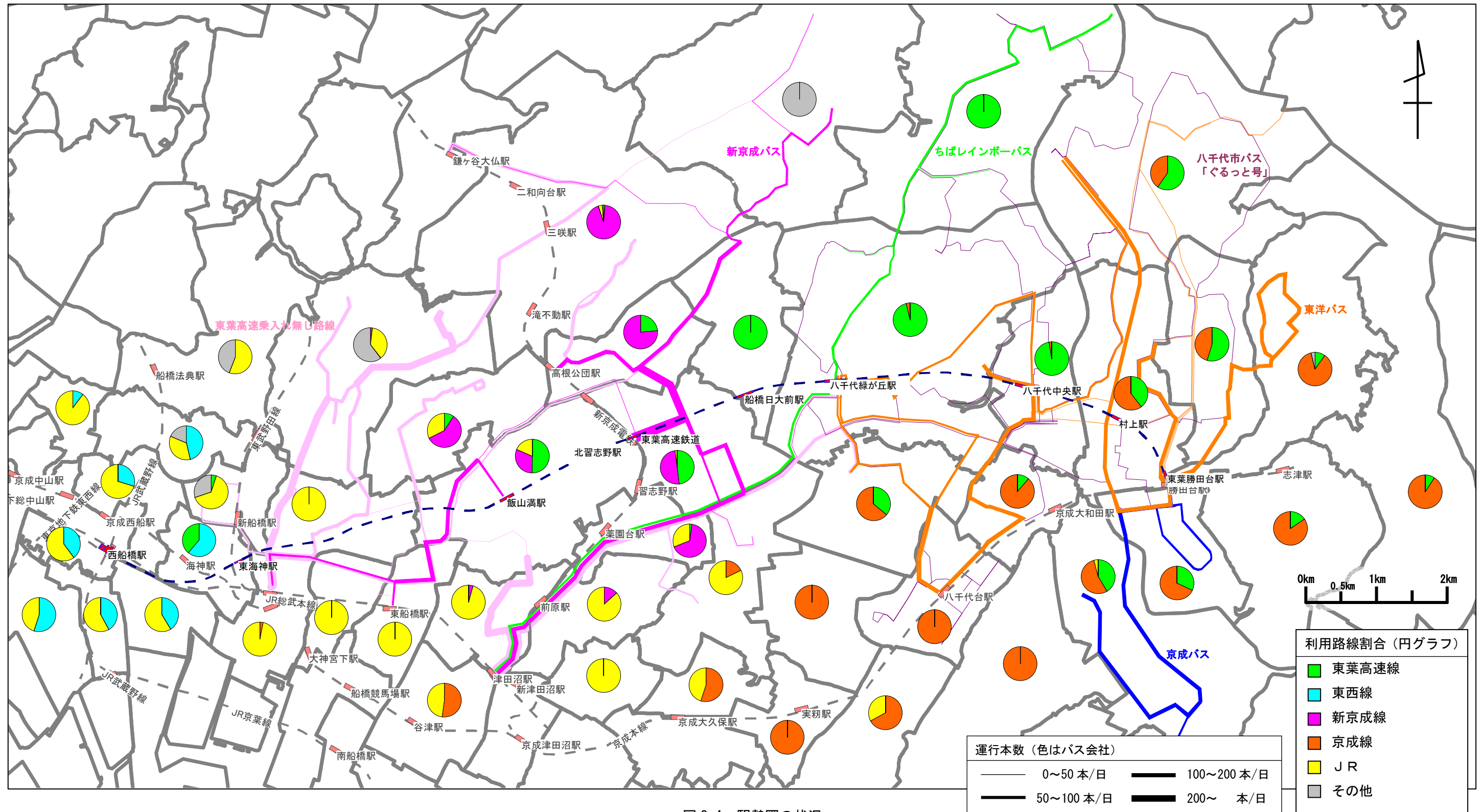


図 2-4 駅勢圏の状況

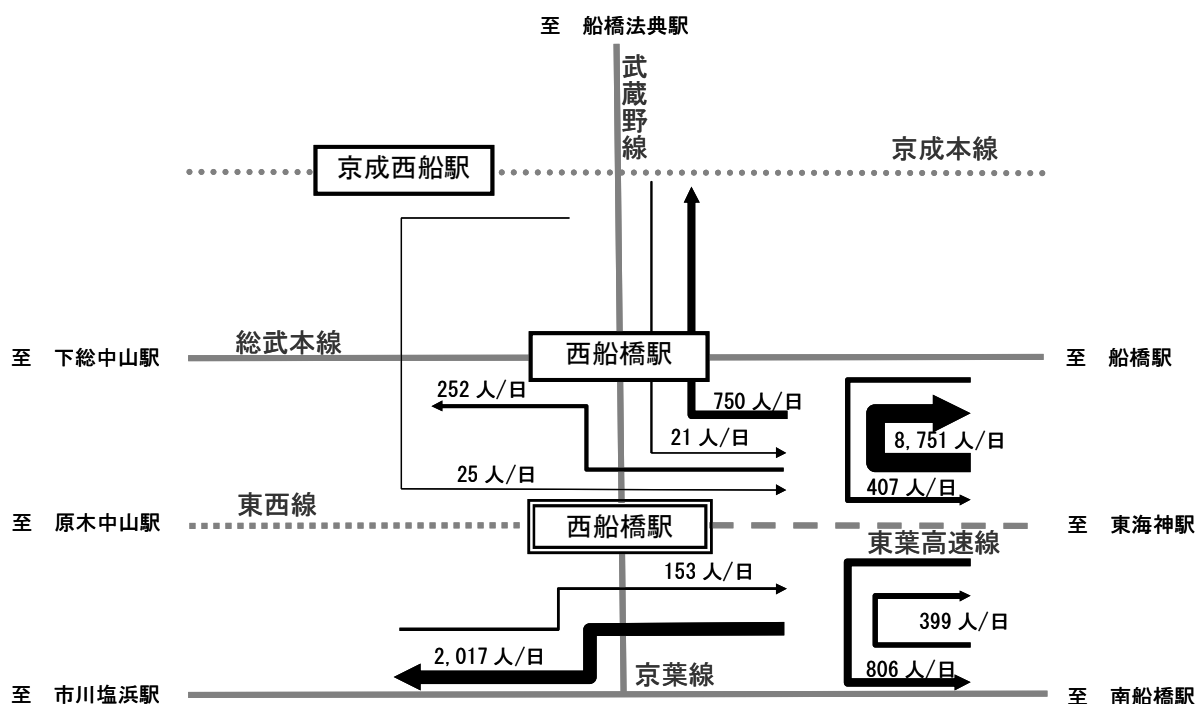
資料：平成 17 年大都市交通センサス、各バス事業者



(4) ターミナル駅の乗換・乗降者状況

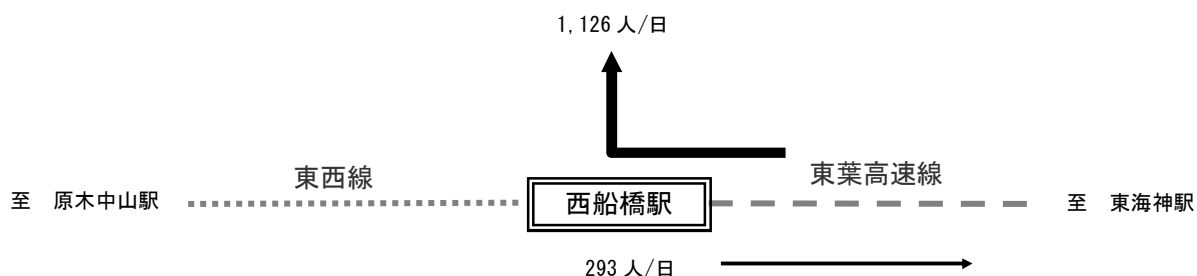
① 西船橋駅の乗換・乗降者状況 (定期券利用者 単位：人/日・片道)

西船橋駅の乗換者数は、「東葉高速線 (上り) から総武本線 (下り)」への乗換が 8,751 人/日・片道と最も多く、次いで「東葉高速線 (上り) から京葉線 (上り)」の 2,017 人/日・片道となっており、全乗り換えの 6 割近くを占めている。乗降者数では、東葉高速線 (上り) から降車する人が 1,126 人/日・片道と最も多くなっている。



資料：平成 17 年大都市交通センサス

図 2-5 西船橋駅の乗換者数



資料：平成 17 年大都市交通センサス

図 2-6 西船橋駅の乗降者数

※ 上記値は、定期券利用者の片道の値である

西船橋駅での乗換・乗降者数（定期券利用者 103,948 人/日）の内訳は、「東西線から東葉高速線（東葉高速線から東西線）へ乗り入れる人」が 73,948 人/日（71.2%）、「他路線へ（他路線から）乗り換える人」が 27,162 人/日（26.1%）、「西船橋駅で乗降する人」が 2,838 人/日（2.7%）となっており、東西線から東葉高速線（東葉高速線から東西線）へ乗り入れる人が大半となっている。

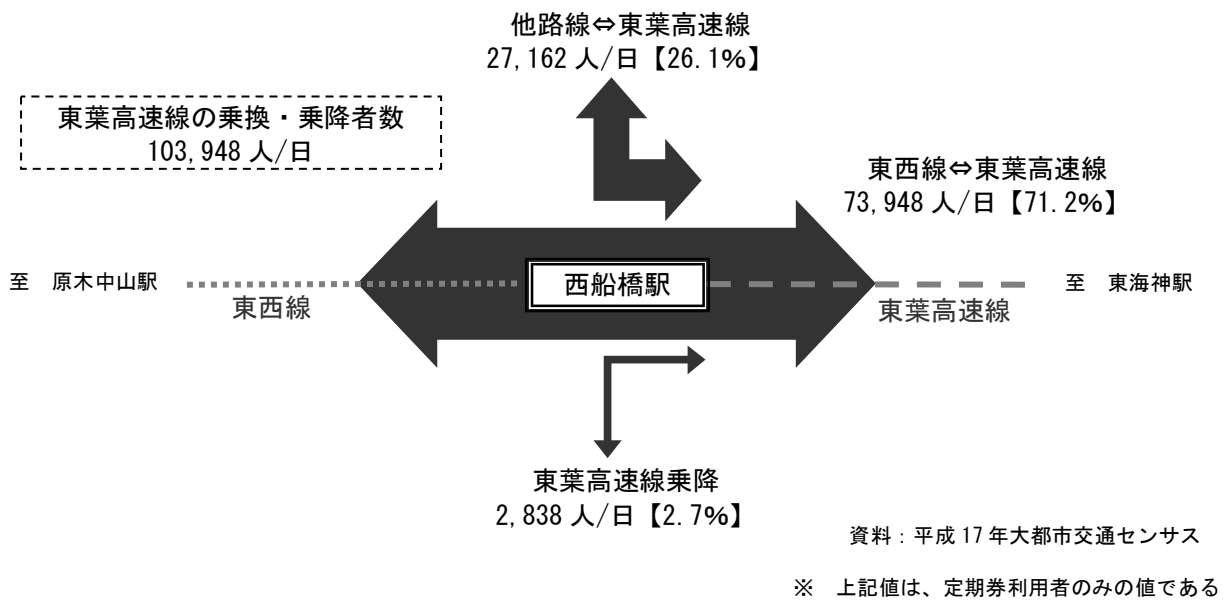
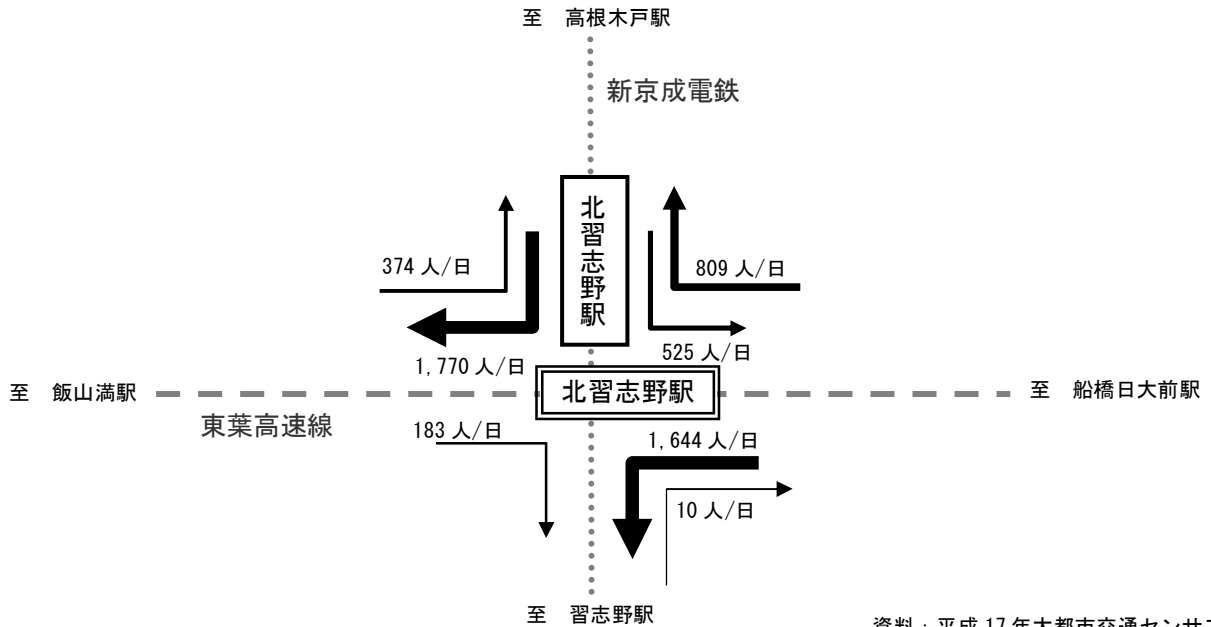


図 2-7 西船橋駅の乗換・乗降者数の内訳

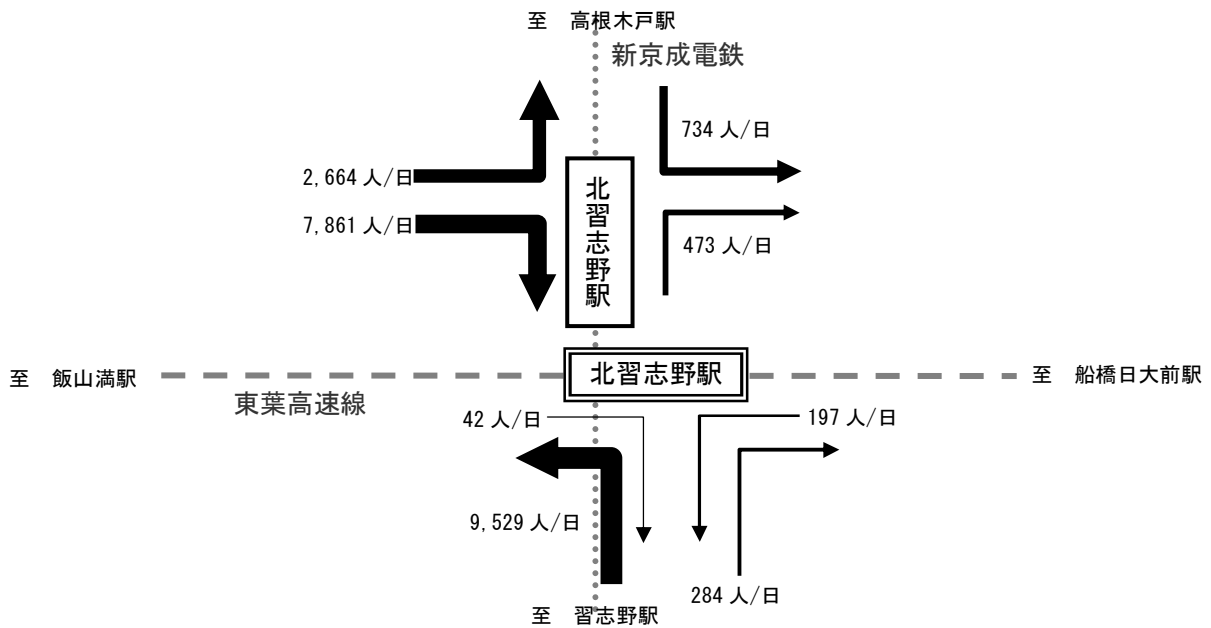
② 北習志野駅の乗換・乗降者状況

北習志野駅の乗換者数は、「新京成電鉄（下り）から東葉高速線（上り）」への乗換が 1,770 人/日と最も多く、次いで「東葉高速線（上り）から新京成電鉄（下り）」の 1,644 人/日となっており、全乗り換えの 6 割近くを占めている。乗降者数では、東葉高速線（上り）へ乗車する人が 9,529 人/日と最も多くなっている。



資料：平成 17 年大都市交通センサス

図 2-8 北習志野駅の乗換者数



資料：平成 17 年大都市交通センサス

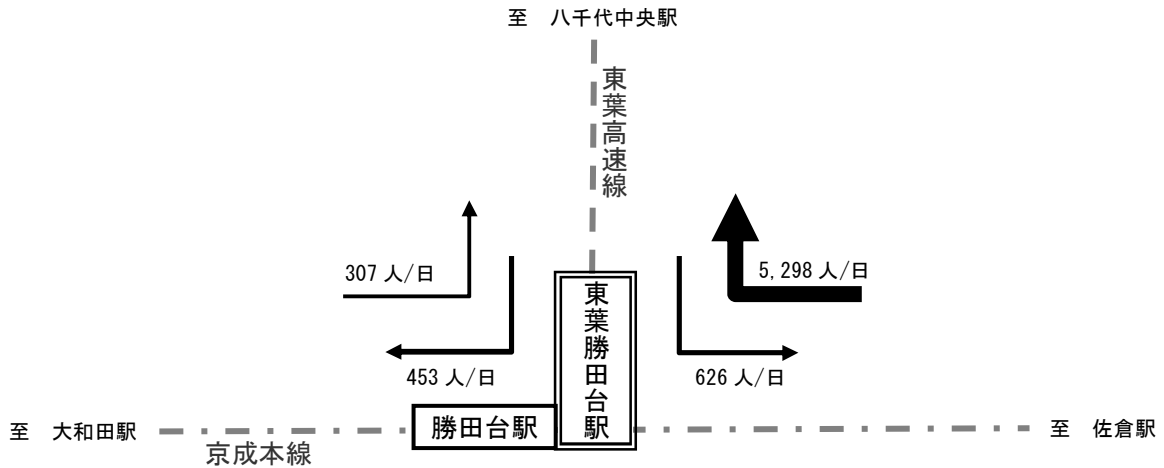
図 2-9 北習志野駅の乗降者数

※ 上記値は、定期券利用者の片道の値である

### ③ 東葉勝田台駅の乗換・乗降者状況

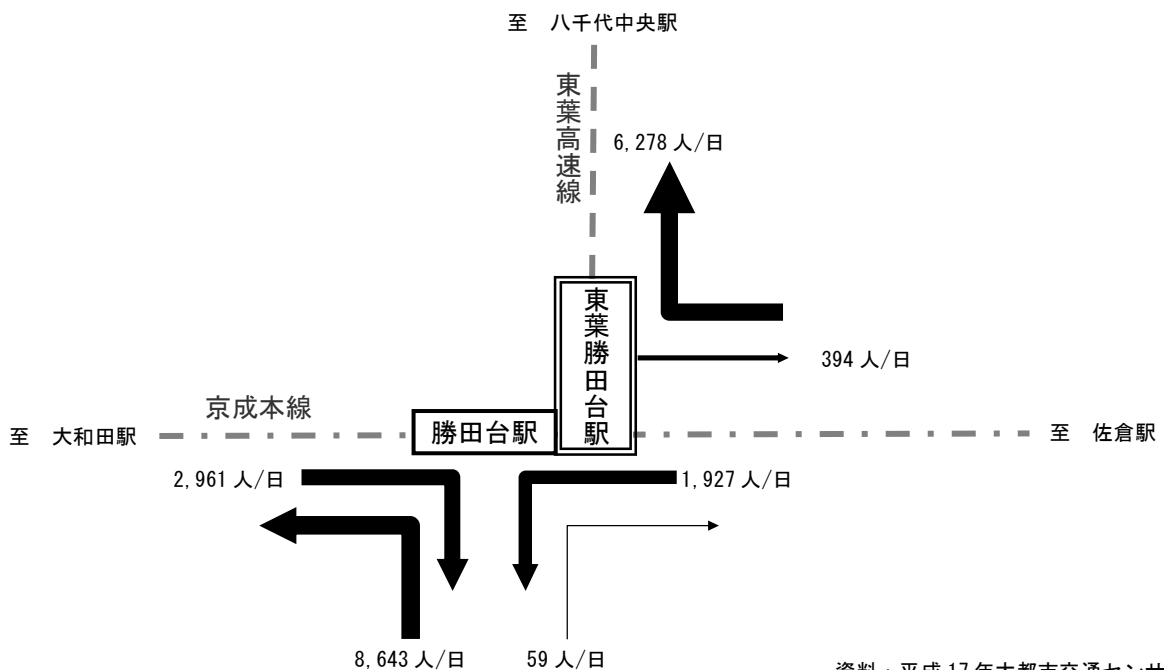
東葉勝田台駅の乗換者数は、「京成本線（上り）から東葉高速線（上り）」への乗換が 5,298 人/日と最も多く、全乗り換えの 8 割近くを占めている。

乗降者数では、京成本線（上り）へ乗車する人が 8,643 人/日と最も多く、次いで東葉高速線（上り）へ乗車する人の 6,278 人/日となっている。



資料：平成 17 年大都市交通センサス

図 2-10 東葉勝田台駅の乗換者数



資料：平成 17 年大都市交通センサス

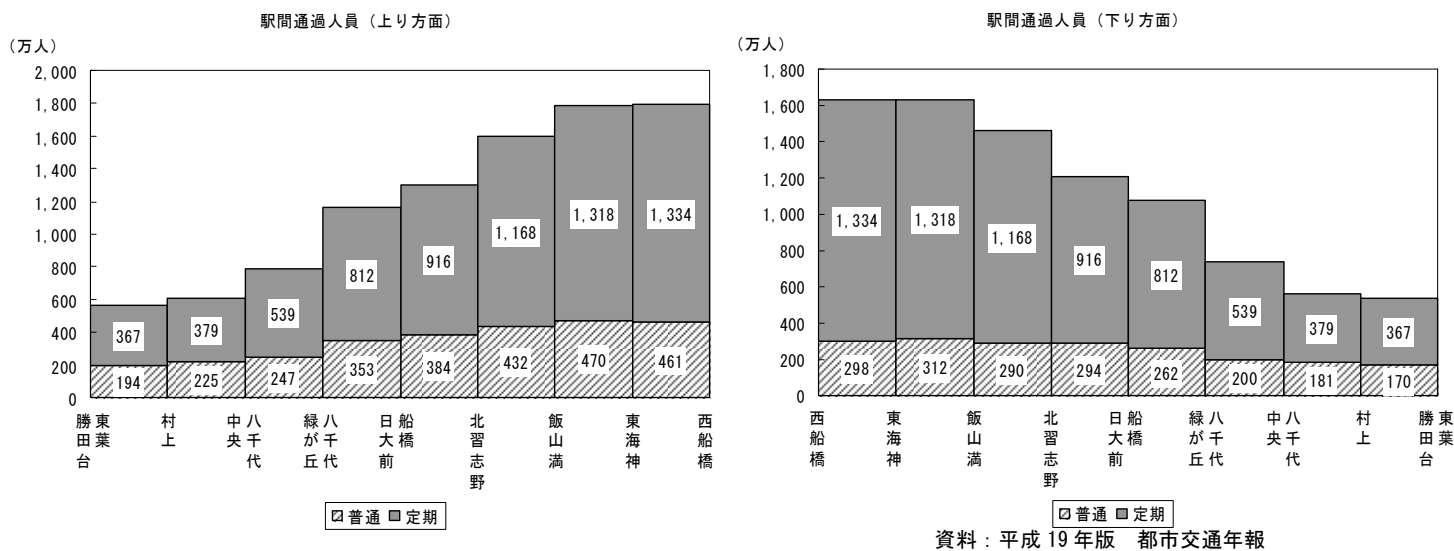
図 2-11 東葉勝田台駅の乗降者数

※ 上記値は、定期券利用者の片道の値である



## (5) 駅間通過人員

駅間の通過人員は、西船橋駅へ向かうほど多くなっている。八千代緑が丘駅の前後で駅間通過人員が300人程度変化しており、乗降者が多いことが伺える。

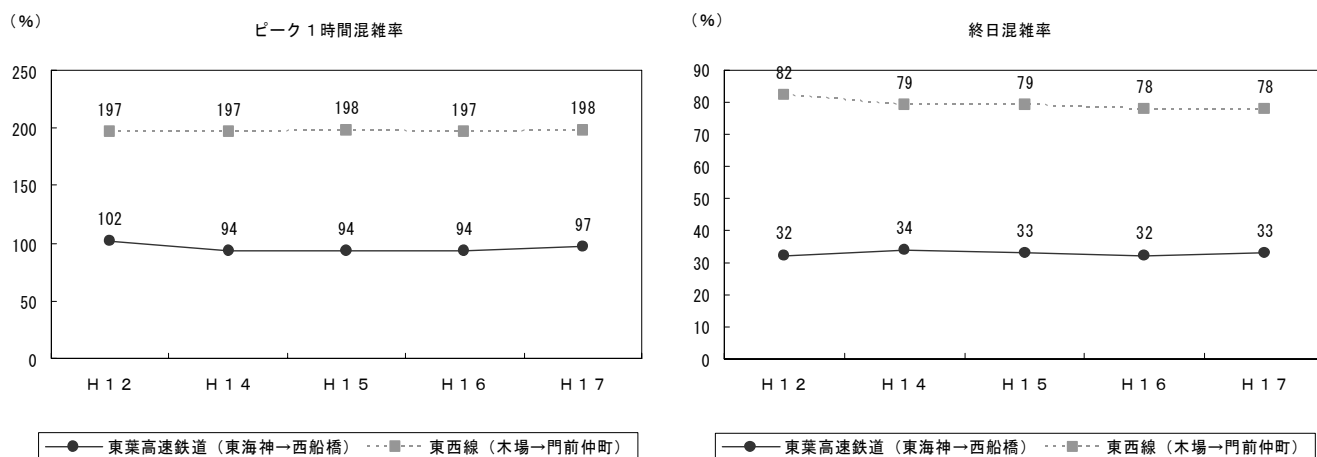


資料：平成19年版 都市交通年報

図2-12 東葉高速線内の駅間通過人員

## (6) ピーク時・終日混雑率の推移

ピーク時の混雑率の推移は、東葉高速線では平成12年を除いて100%をきっている。一方、相互直通している東西線のピーク時の混雑率は200%近く混雑が激しい。東葉高速線の終日の混雑率では、平成17年で33%とほぼ混雑していない状況である。



資料：平成19年版 都市交通年報

図2-13 東葉高速線と東西線のピーク時・終日混雑率の推移